

令和 4 年度帯広小学校 PTA 活動アンケート 結果

(1) アンケート実施期間

令和 4 年 12 月 2 日 (金) ～令和 4 年 12 月 23 日 (金)

(2) アンケート回答数

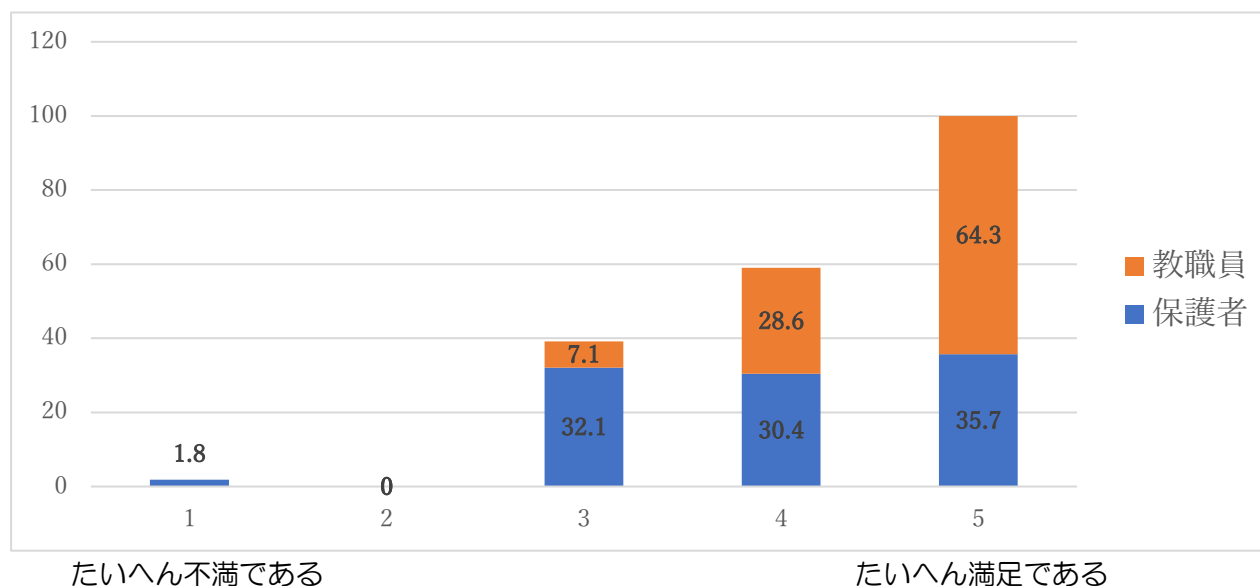
アンケート回答数 113 件 / 全家庭数 150 戸 (回答率 75.3%)

(3) アンケート結果

Q1 今年度の PTA 活動への参加状況 (保護者)



Q2 今年度の PTA 活動に「参加できた」を選んだ方のみ回答。今年度の PTA 活動の「満足度」について (保護者・教職員)



Q3 今年度の PTA 活動に参加できた方の「満足度」を選んだ理由 (保護者・教職員)

(保護者)

○業務を簡素化したことで、無理なく、負担が少なく参加できたこと

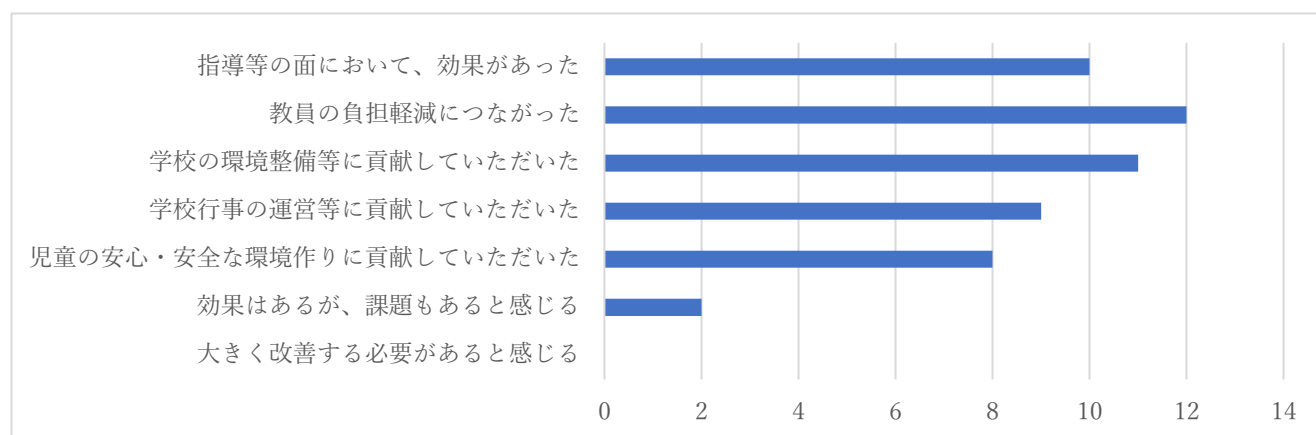
○サポーター制なので無理なく参加できるものを選んで、気軽に活動に参加できたこと

- 仕事に支障なく、参加できたこと
- 日程が合わなければ欠席できるので、心理的な負担が少なかったこと
- 集まって話し合うような手間が軽減されたこと
- 皆さんと一緒に参加できて、有意義で楽しい時間を過ごせたこと
- コロナ禍で思うように PTA の事業が出来ない中、少しでも参画することができたこと
- △年度の途中で、自分が登録していないサポーターへお手伝いを申請する方法がない
- △仕事している上で、平日の強制参加は厳しい
- △運動会のテント設営撤去では、参加人数が少なかった。運動会当日の撤去作業は、当日来場している保護者にアナウンスし、サポーター登録していなくても参加できるような体制があるとよい
- △学習発表会の器楽サポーターでは、事前に楽譜を見せていただいたり、当日の役割について確認することでスムーズに参加できると感じた
- △活動の機会が少なかったことで、一つ星を減じた
- △遊具の色塗りは、他の遊具もできたのではないかと思う

(教職員)

- 学級から役員を選出しなくてもよくなったことは、負担軽減となった
- 行事や学習活動など、サポートしていただき大変助かった
- コロナ禍の中、できる範囲で教育活動に対する協力をいただいた
- 書写サポーターの方に来ていただき、複数の目で子供たちを見ることができて大変助かった
- 無理なく、PTA活動に参加することができていた
- △活動の実施の見込みのないサポーターに登録した方の扱いや、担当教諭の負担が大きいことは今後改善する必要がある

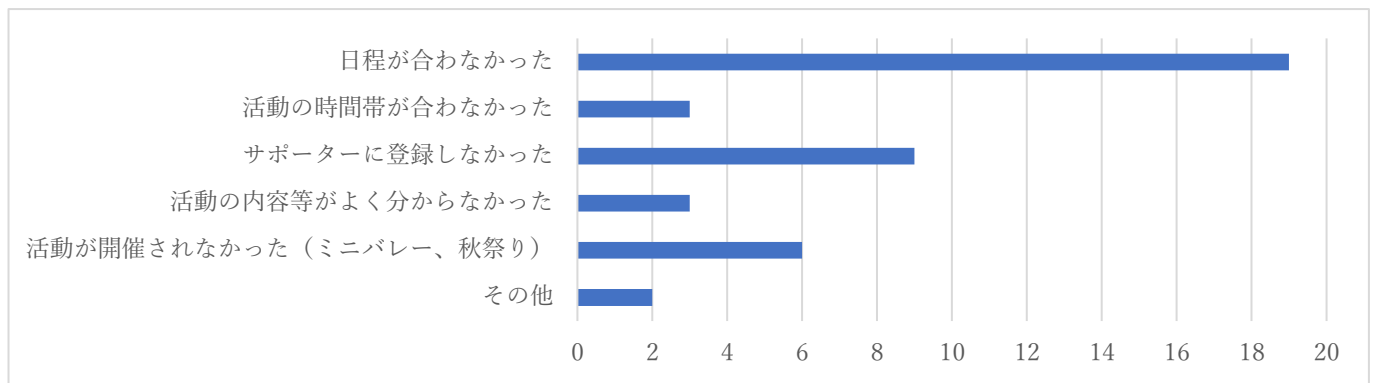
Q4 PTA サポーター活動について（教職員）



参加した多くの保護者の方が、今年度のサポーター制度について「無理なく、負担なく参加することができた」「これまでの活動と比較すると負担軽減となった」と感じていることが伺えた。また、教職員においても、行事や学習活動の場において PTA サポーターの協力を得たことで、子供たちへの指導にプラスになったと感じていたり、これまでの活動と比較して負担軽減となっていると感じていることが伺えた。

一方で、保護者、教職員ともに、年度の途中でのサポーター登録の変更や実施の見込みのないサポーター（今年度においては、ミニバレー選手や秋祭りサポーター）への対応、参加が少ないサポーターがあった場合の呼びかけなどに課題があると感じていることが伺える。

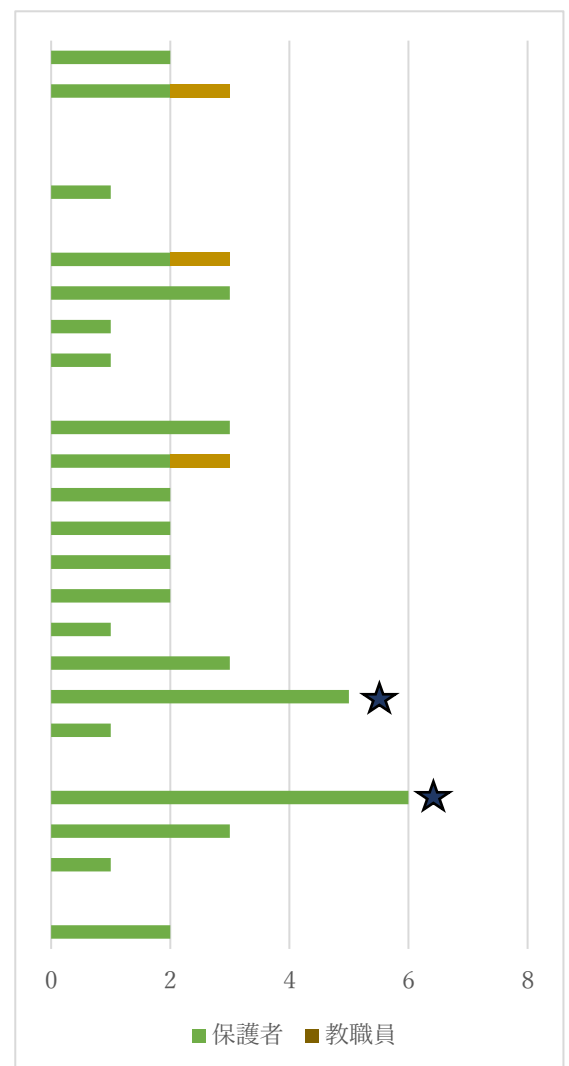
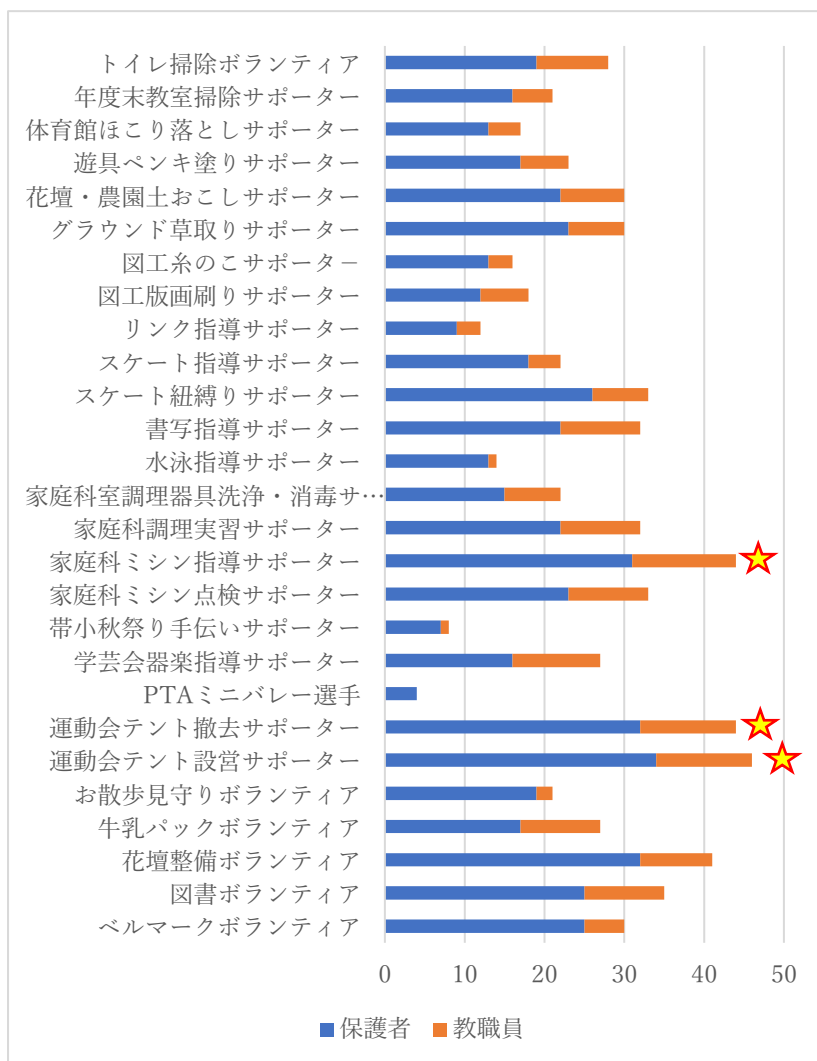
Q5 今年度のPTA活動に「参加できなかった」理由について（保護者）



Q6 今年度の活動で「よかった（必要）」と思った活動と「よくなかった（必要ない）」と感じた活動（保護者・教職員）

○ よかった（必要）と思った活動

○ よくなかった（必要ない）と思った活動



「よかった（必要）」と思った活動については、保護者、教職員ともに「運動会テント設営サポーター」（保護者 47%、教職員 86%）、「運動会テント撤去サポーター」（保護者 44%、教職員 86%）、「家庭科ミシン指導サポーター」（保護者 43%、教職員 93%）の割合が高かった。一方、「よくなかった（必要ない）」と思った活動については、保護者では、今年度活動が中止となった「ミニバレー選手」（39%）、活動の状況が見えにくかった「お散歩見守りサポーター」（46%）の割合が高かった。また、教職員では今年度に登録がなかった「水泳指導サポーター」「図工糸のこサポーター」に意見があった。

Q7 次年度、新たに「こんな、サポーター活動があってもいいのでは…」と思うもの（保護者・教職員）

（保護者）

- ・アフタースクール活動。以前いた学校でやっていたのですが、行政から補助金も頂きつつ必要なクラスは有料で科学教室や漢字教室、フラワーアレンジメントなど保護者が教えられる自分の特技や地元の協力者を先生にしサポートを行う活動をしていましたが、子供達と交流できる場となり良かったです。
- ・自分の子のクラスのボランティアにもっと参加できたら良いと思います。
- ・マナーのサポート。
- ・学童が遠いので、放課後 17 時半くらいまで校内で過ごせるようにしてほしいです。その際の見守り、付き添いのサポーターがいるといいと思います。
- ・先日サポーターをしましたが、とても雰囲気も良くサポートしなくてもみんな頑張っていました。ほとんど見守るだけでしたが、参観日とは違った雰囲気も感じられるので良かったです。
- ・コロナ対策支援。
- ・登下校のサポーター。
- ・夜間や週末のみで完結するサポーター。
- ・これ以上の活動は必要ない。

（教職員）

- ・樹木剪定サポーター
- ・ICT 支援サポーター
- ・窓拭きサポーター
- ・体育指導ボランティア（例えばマット運動では、複数の場所に分かれて活動するため、指導が行き届かないことがある。アドバイスを送ったり、安全に取り組んでいるか見たりしていただけるとありがたい。）
- ・除雪サポーター

保護者の意見では、「登下校見守りサポーター」や「コロナ支援サポーター」等の他に、「アフタースクール活動」や「自分のクラスの活動に参加したい」など、サポーターとして事業に参加しながら、子供たちとの触れあいや保護者として学校の様子を知る機会にしたいという要望が伺えた。

教職員の意見では、「樹木剪定サポーター」「窓ふきサポーター」などの学校環境整備に関するサポーターや「ICT サポーター」「体育指導ボランティア」など、子供たちへの学習指導に関するサポーターへの要望が伺えた。

Q8 PTA 活動全般についてのご意見 （保護者・教職員）

（保護者）

○来年度も無理なく参加できたらいいなと思います

○まだまだコロナ禍ですが、委員会のお役をされている方、ありがとうございます。

○今まで PTA 活動に参加できない方もいて平等感はなかったため、今回のようなサポーター制度は無理なく皆で子供達のために参加できる制度で大変良いと思います。継続を望みます。

○保護者が何らかの形で学校活動に寄与することは、コミュニティ形成のうえから大切だと思います。仕事の都合で参加できなかったことは残念ですが、また機会をみて参加したいです。

○ボランティアで色々な活動をしている方には本当に感謝しています。活動量にもよりますが、ボランティアではなく有償にしてもいいのではと思います。

△学校職員の業務内容を、PTA 活動として割り当てたい為に無理やり役割を作っていると感じる。

△都合がつく家庭ばかりでなく、経済的にも仕事の都合はつけられない保護者もいます。活動の削減を考えて頂きたい。

△両親共に仕事している家庭が多い中、平日の PTA 活動参加を促す（ほぼ強制）のは違和感があります。去年まで必要の無かったサポーターも増えており（授業に関わる物など）、余計な負担を強いているように感じました。運動会のサポーターなどは人手も必要なので理解できますが。

△できるだけ業務を簡素化して負担が少ない形にしてほしい。親同士のレク行事や文化行事は時代に合わないからいらない。

△サポーター登録をした後、個人の特定はできない形で、どの活動に何人くらいサポーターがいるのか人数だけでも知りたいなと思った。（少なかったら手伝おうかどうかと、悩んだ活動があったため）

△バレーボールは PTA 活動と関係あるのかがよくわかりません。

△「登校の見守り」は PTA のボランティア活動には含まれないのでしょうか？また別の制度なんでしょうか。

△活動時間が決まっていると選びやすいと思いました。

（教職員）

○PTAの方々にサポーターという形で、たくさんご協力を頂くことができて良かったです。感謝！感謝です。
今後も継続してご協力をお願いしたいです。

○いつも PTA 活動に参加していただき、ありがとうございます。

○様々な行事や学習活動のサポート大変助かっています。

○個人の都合に合わせて参加しやすい制度でよいと思う。

○牛乳パック洗いサポーターなど、地道にコツコツと活動してくださっている方々には本当に感謝の気持ちしかありません。

○大変助かりました。ありがとうございました。

○どの活動も、学校日より等で活動の様子を紹介することで、次年度以降の活動に（できそう。やってみたい）つながると思います。

△協力していただくことはとてもありがたいが、活動に参加していただいた保護者の方々が負担なく取り組めたかがわからなかったため活動した方の感想等を聞くなど、レスポンスがあると良いと思いました。

保護者の意見では、「来年度も無理なく参加できたらいい」「コミュニティ形成のうえから大切」等、今年度のサポーター制の PTA 活動の継続を望む意見が伺えた一方、「活動の削減」や「活動内容についての精選」を求める意見も伺えました。また、サポーターの登録状況を保護者へ周知することで、登録が少なく、活動が難しい状況であると考えられる活動に、「年度の途中で追加登録できるシステムがあるとよい」という意見もありました。

教職員については、昨年度以上に PTA の方が多くの活動の場に参加し、「子供たちの活動を支えていただいたことへの感謝」や、活動に参加していただいた「サポーターの方の感想や意見を聞くことで、事後の活動に反映させていくことが必要である」という意見もありました。

○まとめ（次年度に向けて）

- ①サポーター活動の精選（削減するサポーター、新たに追加するサポーター、活動の実施時期、実施学年など）
- ②サポーターの全体の登録状況を、保護者の方に周知する（HP 等の活用）
- ③年度途中にサポーター登録を変更したり、追加で登録をすることができるシステムの構築
- ④サポーター活動後に、参加した保護者の方からの感想やご意見を聞く機会（アンケート等）の設定